

一般質問

・企業誘致について
・茶業振興について



渥美昌裕

問

新野地区企業誘致に向けての取り組み、進捗状況は

答

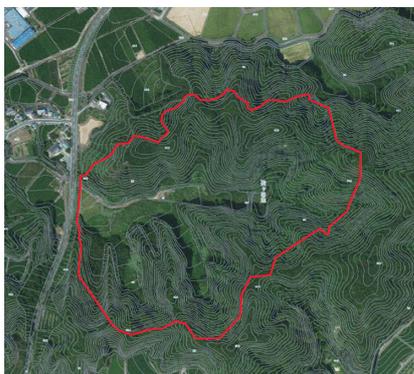
新野工業団地候補地は、29年度御前崎市企業立地ニーズ調査結果により、可能性がある市外企業が4社あります。この企業に対して、新野候補地の強みである津波など防災上の懸念が少ないこと、近隣に住宅地が少ないため24時間操業が可能ということ、東名高速の菊川インターチェンジから20分以内の交通アクセスなどを改めて説明しています。また、電力多消費型の製造業には、優遇制度である、国の原子力発電施設等周辺地域企業立地支援給付金や、本市単独の補助制度など、立地のメリットを分かりやすく説明し、交渉しています。詳細については、交渉のため差し控えます。

問

茶業振興に対する今後の施策は

答

本市に限らず、農業者の高齢化、担い手不足、価格の低迷など様々な問題があります。



企業誘致候補地（新野有ヶ谷）

しかし、これといった特効薬が見つかっていないのが現状です。主に傾斜地にある茶畑の荒廃化が進んでいます。平たん部の茶畑が同じようにならないために、国、県や本市の補助事業を活用し、茶園集積など農地の有効利用推進に努めるとともに、機械購入時の補助事業などを継続し、経営支援をしていきます。

その他の農業でも、水田の老朽化した暗渠排水の敷設替え工事の補助などの実施を考えていきます。

一般質問

・御前崎市家庭医療センター
「しろわクリニック」について



大澤博克

問

「しろわクリニック」の現状と課題、今後の計画は

答

現状は、平成30年4月から、非常勤医師1名を採用し、3人体制で順調に医療を提供しており、訪問診療、訪問リハビリも行っています。

課題は、当地域で診療していただけの医師の確保です。この点については、浜松医大と静岡家庭医養成協議会が連携し、総合診療専門医、いわゆる家庭医を育てるプログラムを実施しており、今年4月には、専攻医1名が、「しろわクリニック」に配属の見込みです。

今後の計画は、浜松医大の学生実習受け入れで、大学6年生が今年2週間ずつ交代で研修を行う予定となっています。また、大学5年生が、来年から、2週間ずつ1年を通して、実習に来ることになっています。年間約30人から最大80人の医学生が「しろわクリニック」で研修することになります。

将来の地域医療を担う医師や学生を育てる研修施設として、また、

当地域の医療の担い手としての責任を果たせるよう、体制を整えていきます。

「訪問診療」のご案内

「訪問診療」と「往診」の違いは？

「訪問診療」とは、通院が困難な方を対象にあらかじめ訪問日時を決めて、計画的・定期的に自宅へ訪問して診療を行います。

「往診」とは、急に具合が悪くなったなど、突然に具合が悪くなった時に自宅へ訪問して診察することです。

どのような方が対象ですか？

御前崎市家庭医療センター「しろわクリニック」に通院中、または市立御前崎総合病院に入院中・退院予定の方で、通院が困難な状態にある方が対象となります。